

2020年8月20日

2021年3月期第1四半期 決算説明会 質疑応答要旨

1. APの事業環境が良いということであったが、良かった要因が何かを伺いたい

→件数というよりは大型案件の受注が入ってきており、特定の事業環境要因ではなくユーザーの設備投資のタイミングであると思われる。日本全国に当社APプラントが規模の大小あわせて700台程度あるが、受注案件を見ていると大手道路会社の大型プラントのSB（スクラップ&ビルド）が多くある。

2. AP、BPでオリンピックが遅れた影響はあるのか伺いたい

→AP、BPともに特にオリンピックの影響は無い。

オリンピック前は工事がしにくいなど、工事が遅れたという影響も無いのか

→多少はあるかもしれないが、日本全体で見るとインパクトは無いと思っている。

3. 今期1Qのメンテナンスの売上高、利益率の状況について伺いたい

→APのメンテナンス売上高は、前期1Qも今期1Qも19億円で変わっていない。しかし、利益率は3ポイント程度向上した。BPメンテナンス売上も前期1Qと今期1Qでほぼ変わらず8億円であった。BPの利益率は2年程度前から改善しており、今期1Qは前期1Qと同程度であった。

BPメンテナンスの利益率が改善しているが、APメンテナンスの利益改善が遅れているということなのか

→BPはメンテナンスのかなりの部分をパーツが占めており、（マージン率は）良い水準まで来ていると思う。我々としては、APメンテナンスのマージン率はまだまだ改善の余地があると考えている。

4. リモートメンテナンスの契約率が増えたということであったが、これによるマージンの改善は未だ数字として出てこないのか

→今はまだ年間契約金額程度の数字しか表面には出てきていない。

リモートメンテナンス導入によるメンテナンスの業務効率改善がマージンとして出てくるのはまだ少し時間がかかると考えている。

(注)本質疑応答要旨は決算説明会に参加されなかった方への情報提供も含めておこなっていますが、その内容につきましては理解し易いように一部で加筆・修正していますことをご承知おき下さい。

日工株式会社 財務部 IR 担当